

政務活動費収支報告書

令和 8 年 4 月 16 日

瑞穂町議会議長

小 川 龍 美 様



議員名 川 島 靖 弘



令和 7 年度政務活動費について、次のとおり収支報告します。

- | | | | | |
|---|---------|----------------|---------|----|
| 1 | 収 入 | (政務活動費交付額 金 | 120,000 | 円) |
| 2 | 支 出 | (政務活動費支出額 金 | 122,434 | 円) |
| 3 | 添 付 書 類 | 支出に係る領収書等の証拠書類 | | |

令和7年度 政務活動費 収支報告書

議員名： 川島 靖弘

1 収 入

項 目	金 額	説 明
政務活動費 (①)	120,000 円	当初交付金

2 支 出

項 目	金 額 ※1	説 明
調 査 研 究 費	円	支出内訳参照
研 修 費	122,434 円	
広 報 ・ 広 聴 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計 (②)	122,434 円	

差引金額 (①-②)	△ 2,434 円 ※2
------------	--------------

※1 用途項目ごとに集計の上記載してください。

※2 差引金額に残余が生じた場合は、この金額を返還してください。
(差引金額が△(マイナス)の場合は返還の必要はありません。)

支出内訳

項目	適用及び内容 (視察の場合は日程及び場所を記入すること)	支払金額	備考
研修費	地方議員のための政策法務～ 政策実現のための条例提案に 向けて～	41,730 円	令和7年8月18日～ 20日 参加費11,000円
研修費	全国政策研究会2025 in 吹田	3,000 円	令和7年8月20日 参加費3,000円 ※旅費は8月18日 ～20日と兼ねる
研修費	議会改革を考える～ 先進事例 に学ぶ住民参加・情報公開～	19,620 円	令和7年10月20日 ～21日 参加費 8,050円
研修費	決算フォローアップセミナー 『決算を予算に活かすには～ 令和6年度決算審議を経て ～』	11,000 円	令和7年10月31日 参加費11,000円
研修費	全国地方議会サミット20 25	18,080 円	令和7年11月8日～ 9日 参加費15,000円
研修費	市町村議会議員特別セミナー	12,684 円	令和8年1月8日～9 日 参加費10,000円
研修費	第59回「議員の学校」	16,320 円	令和8年1月30日～ 31日 参加費15,000円
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		円	
		122,434 円	

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 :

「地方議員のための政策法務～政策実現のための条例提案に向けて～」

2 期 間 : 令和7年8月18日(月)～20日(水)

3 参加者氏名 : 川島 靖弘

4 研修等の概要 :

主催：公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所

共催：全国市議会議長会

後援：全国町村議会議長会

研修内容

講義 「地方議員と政策法務」

新潟大学副学長・経済科学部 教授 宍戸 邦久 氏

講義 「法制執務の基本」

関西学院大学法学部 教授 小川 大和 氏

演習導入

演習 条例立案演習

演習 発表・意見交換・講評

所感

1日目が地方議員による条例立案の意義、政策法務の基本的な内容や考え方、また実際に条例立案するためのポイントなどを講義の形で受講しました。2日目は、1日目の講義を踏まえて、班に分かれて条例を実際に作るための演習を行いました。

私の班では、子ども条例の制定を目指しました。条例の条文を作る作業ではなく、目的や必要性、有効性、効率性などから基本理念や役割を決めていく作業を行いました。

議会の条例制定や改正時に今回学んだことを役立てたいと思います。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レ ン ター (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
8/18	箱根ヶ崎→新横浜	990						
8/18	新横浜→京都		13,300					
8/18	京都→唐崎	240						
8/20	唐崎→吹田	840						
8/20	吹田→新大阪	180						
8/20	新大阪→新横浜		14,190					
8/20	新横浜→箱根ヶ崎	990						
小 計		3,240	27,490					
		合 計		30,730 円				

6 交通費 :	ガソリン代	0 円
	有料道路通行料	0 円
	駐車場代	円
	計	円
7 資料代 :		円
8 出席者負担金・会費 :		11,000 円
9 その他 :		円
	総 合 計	41,730 円

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 : 「全国政策研究集会2025 in 吹田」

2 期間 : 令和7年8月20日(水)～21日(木)

※参加したのは20日のみ

3 参加者氏名 : 川島 靖弘

4 研修等の概要 :

主催 : 全国政策研究集会2025 in 吹田実行委員会

共催 : 自治体議員政策情報センター「虹とみどり」

共催 : 平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議

研修内容

基調講演 : 「選挙とメディア」

ジャーナリスト 江川 紹子氏

基調講演 : 「デモクラシーと地方自治～自治の必要性を再考する～」

関西大学法学部教授 坂本 治也氏

トークセッション : 「くらしと政治をつなぐ市民活動～市民自治を問う～」

吹田傾聴ほほえみ 長谷川 美津代氏

NPO 法人なごみ事務局長 田村 幸大氏

関西大学法学部教授 坂本 治也氏

所感

江川さんの講演では、最近の選挙において SNS により、結果が大きく影響を与えており、その危険性を、ジャーナリストの立場からのお話を伺いました。発信者としての考え方、情報についての受け止め方について学びました。

また、質問をする機会をいただけたので、鶴ヶ島市で議員が議会から、市議会議員の肩書を使用して発信することの自粛を求める決議を受けたことに関して、所感を伺いました。江川さんからは「議会としてこのような事が起きることを、準備や想定をしていなかったことから、このような結果に

なってしまったのではないかと回答をいただきました。議会として議員の言動を守ると同時に、議会という組織を守るためにはしっかりとした準備が必要であることも学びました。

坂本さんの講演では、住民の地方自治への関心についてのお話を伺いました。瑞穂町でも投票率の低下、町議会になかなか関心を持ってもらえない状況、今後の議員のなり手不足の問題も発生することが考えられる中でのヒントをいただきました。

トークセッションでは、居場所づくりをされている団体の方が登壇され、今までの活動についての発表がありました。正直、中心となっている方の熱意によって行われているところが大きいとは思いましたが、このような市民活動が増えていることが、より住民福祉の増進につながると改めて、思いました。いかにそのような活動に参加してもらうか、また参加してもらえるように支援するかを考えていきたいと思えます。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
小 計								
		合 計						円

6 交通費 :	ガソリン代	0	円
	有料道路通行料	0	円
	駐車場代		円
	計		円
7 資料代 :			円
8 出席者負担金・会費 :		3,000	円
9 その他 :			円
	総 合 計	3,000	円

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 : 「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

2 期 間 : 令和7年10月20日(月)～21日(火)

3 参加者氏名 : 川島 靖弘

4 研修等の概要 :

主催：公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所

研修内容

講義 質疑応答「地方議会の展望」早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏

講義 「『議会改革度調査』から見る地方議会」

早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長 中村 健 氏

事例紹介・演習「住民参加・情報公開を進める取組①」

石川県加賀市議会 副議長 上田 朋和 氏

事例紹介・演習「住民参加・情報公開を進める取組②」

奈良県王寺町議会 議会事務局議事庶務係長 村田 大地 氏

演習「各議会における今後の議会改革推進の検討」

早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長 中村 健 氏

所感

議会の役割

住民福祉の増進のためには議会が大きな役割を持っている。そのためには議会がしっかりと動く必要がある事を学びました。また、先進議会の取り組みなども大変参考になりました。

また、議会にとり、広報の役割が大切である事を改めて認識しました。演習では「議会だより」をどうするかを班に分かれて議論をして、班としての意見をまとめました。

今回の研修で学んだものを、瑞穂町議会に積極的に取り入れていきたいと思えます。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レンタカー (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料	
小 計									
		合 計						円	

6 交通費 :	ガソリン代		円
	有料道路通行料	11,570	円
	駐車場代		円
	計	11,570	円
7 資料代 :			円
8 出席者負担金・会費 :		8,050	円
9 その他 :			円
	総 合 計	19,620	円

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 : 決算フォローアップセミナー
『決算を予算に活かすには ～令和6年度決算審議を経て～』

2 期 間 : 令和7年10月31日(金)

3 参加者氏名 : 川島 靖弘 (オンライン参加)

4 研修等の概要 :

主催: ローカル・マニフェスト推進連盟

講演「地方議会の政策サイクル～財政危機と自治を考える～」

大正大学地域創生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭氏

講義「決算審議を次年度予算に活かす方法」

可児市議会議長

ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表 川上 文浩氏

講義「監査を決算審査に活かそう」

あきる野市議会議員・監査委員

ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表 子籠 敏人氏

トークセッション「決算起点の政策サイクルについて」

5 所見

本研修では、令和7年7月に同会が主催された『決算審査直前 特別集中セミナー』で、決算審議に向けてを学びました。今回の研修では、決算審議を踏まえて、予算審議にどの様につなげていくかを学びました。

江藤さんによる講演では、決算と予算の位置づけの説明があり、政策形成サイクルにおいて、予算と決算審議をどう行っていくかを学びました。

川上さんからは、前回の決算審議に向けての研修の簡単な振り返りから始まり、実際の決算審議をどの様に予算の審議に活かしているか、可児市議会の取組を含め、学びました。

子籠さんからは、監査員の立場から、監査委員の意見に着目し、そこから決算審議に役立てる情報をどう見ていくかの説明を受けました。監査委員として経験がないことから、具体的な部分をイメージが出来ない部分がありましたが、今までとは違う視点が持てたことを活かしていきたいと考えております。

トークセッションでは、講師がお互いに質問し合い、また参加者からの質問があったことで、講義の内容がより具体的にイメージが付きやすくなるものもありました。

決算と予算の審議は、どうしても半年おいての開催ですが、年度はもう1年の差があるので、決算審議を予算に活かしていくのか難しく感じておりますが、今回の研修で少しずつですがイメージできるようになり、今後の予算や決算の審議に生かしたいと思っております。

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 : 全国地方議会サミット2025

2 期 間 : 令和7年11月8日(土)～9日(日)
(瑞穂町産業まつりと同日の為、現地参加とアーカイブ
受講併用)

3 参加者氏名 : 川島 靖弘

4 研修等の概要 :

地方議会を取り巻く環境変化を踏まえ、SNSの普及による民意形成の変化、生成AIの進展による議会・議員の役割の再定義、さらには議会改革や政策形成の実践事例について、有識者及び先進議会の取り組みをもとに議論・共有が行われた。

主なプログラムとして、

- SNS時代における民意のあり方と議会の対応
- AIの進展と地方議会の役割変化
- 議会改革の最新動向
- 子ども・若者の参画を含めた政策形成の実践
- 議会主導による政策づくりの事例

5 所見

本サミットを通じ、地方議会を取り巻く環境は大きく転換期を迎えていることを改めて認識した。

先進事例として示された政策形成の取り組みからは、議会が単なるチェック機関にとどまらず、自ら課題を設定し、調査・対話を重ね、政策提言へとつなげていく「政策形成機能の強化」が重要であることが示された。

特に、子どもや若者の意見を政策に反映する取り組みは、将来の主権者育成の観点からも意義が大きく、今後の議会活動において積極的に取り入れる必要があると考える。

加えて、議会改革については、形式的な取り組みにとどまるのではなく、「政策力」「住民参加」「議会機能の強化」といった観点から実効性を伴う改革を進めることが求められており、各議会間での差が広がりつつある現状も示唆された。

今回の参加を通じて、地方議会には、時代の変化に対応するだけでなく、地域課題の解決に主体的に取り組み、住民との対話を基盤とした政策形成を実現することが求められていると強く感じた。今後は、本サミットで得られた知見を踏まえ、本町議会における政策形成機能の強化及び住民参加の促進に資する取り組みについて検討を進めていきたい。

研修会等参加報告書

議員名 : 川島 靖弘

- 1 研修会名 : 市町村議会議員特別セミナー
- 2 期 間 : 令和8年1月8日(木)～9日(金)
- 3 参加者氏名 : 川島 靖弘
- 4 研修等の概要 :
主催: 市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

研修内容

久住昌之のニッポンふらっとグルメ

「孤独のグルメ」原作者 久住 昌之 氏

被爆体験講話及び被爆体験記朗読会

主権者教育 ～政治離れを防ぐための第一歩～

(一社)WONDER EDUCATION 代表理事・総務省主権者教育アドバイザー

越智 大貴 氏

自治体財政の基本と予算審議のポイント

立命館大学政策科学部教授 森 裕之 氏

所感

まず、「孤独のグルメ」の原作者である 久住昌之 氏の講演では、日常の中にある価値や魅力を丁寧に拾い上げる視点の大切さを感じました。地域の魅力発信においても、特別なものだけでなく、身近な日常の中にある良さをどう伝えていくかが重要であると改めて認識いたしました。

また、被爆体験講話では、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて深く考えさせられました。直接体験された方のお話には重みがあり、次の世代へどのように伝えていくかという責任を強く感じました。自治体としても、平和

教育や記憶の継承にしっかり取り組んでいく必要があると感じました。

主権者教育についての講演では、政治離れが進む中で、若い世代が主体的に社会や政治に関わるきっかけをどのように作るかが大きな課題であると感じました。単なる知識の提供にとどまらず、実感を伴う学びや体験の機会をつくることの重要性を認識し、今後の議会活動にも活かしていきたいと考えます。

さらに、森裕之氏による自治体財政の講義では、財政の基本的な考え方から予算審議のポイントまで、改めて体系的に学ぶことができました。限られた財源の中で、いかに住民福祉の向上につなげていくかという視点を常に持ち、数字の背景にある政策の意図をしっかりと読み取る力の重要性を強く感じました。

今回の研修を通じて、議員として求められる視点は非常に幅広く、また常に学び続ける姿勢が必要であることを改めて実感いたしました。今後は、本研修で得た知識や気づきを日々の議会活動に活かし、より良いまちづくりに貢献できるよう努めてまいります。

5 旅 費 :

月日	鉄道名(乗車経路)・ 宿泊場所	円 鉄 路	円 特 急	円 飛 行 機	円 車 両 (バス等)	円 レ ン ター (借上料)	円 そ の 他	円 宿 泊 料
1/9	箱根ヶ崎→幕張本郷	1,342						
1/10	幕張本郷→箱根ヶ崎	1,342						
小 計		2,684						
合 計						2,684	円	

6 交通費 : ガソリン代 円

有料道路通行料 円

駐車場代 円

計 円

7 資料代 : 円

8 出席者負担金・会費 : 10,000 円

9 その他 : 円

総 合 計 12,684 円

研 修 会 等 参 加 報 告 書

議員名 : 川島 靖弘

1 研修会名 : 第59回「議員の学校」

2 期 間 : 令和8年1月30日(金)～31日(土)

3 参加者氏名 : 川島 靖弘

4 研修等の概要 :

主催 NPO 法人 多摩住民自治研究所

集中講義①「自治体財政の基本と財政危機の正体」

立命館大学政策科学部教授 森裕之氏

集中講義②「新年度の地方財政計画と自治体予算への影響」

立命館大学政策科学部教授 森裕之氏

実践報告「財政に強い現役議員が語る～予算議会、私ならこう臨む」

東村山市議会 伊藤真一氏

甲府市議会 神山玄太氏

集中講義③「予算審査をリードする視点・論点・攻めどころ」

立命館大学政策科学部教授 森裕之氏

集中講義④「社会保障関係予算の動向と、どうなる私たちの暮らし」

元日本福祉大学教授 石川満氏

5 所見

本研修では、自治体財政の基本から最新の地方財政の動向、予算審査の進め方、社会保障費の課題まで、幅広い内容について学ぶことができました。

森裕之氏の講義では、自治体財政の仕組みについて、制度全体のつながりの中で理解することの大切さを学びました。特に、地方交付税などの制度について正しく把握することが、財政状況を適切に見るうえで重要であると感じました。

また、新年度の地方財政計画に関する講義では、予算の規模だけでなく、その内容や背景を丁寧に読み解く必要性について学びました。今後は、国の方針がどのように自治体の予算に反映されているのかを意識しながら、確認していくことが大切だと感じています。

実践報告では、現役議員の皆様から、予算議会に向けた準備や取り組みについて具体的なお話を伺うことができました。事前の整理や視点の持ち方が、議論の深まりにつながることを改めて認識しました。

また、各議会で行われている、議会改革などの取組について、興味を持ちましたので、懇親会ではその取組について具体的な話をざっくばらんに伺わせていただきました。

社会保障関係予算については、高齢化の進展に伴う支出の増加など、今後の自治体運営に大きく関わる課題について理解を深めることができました。住民の皆様暮らしに直結する分野であるため、より丁寧にみていく必要があると感じています。

今回の研修を通じて、予算審査は単に数字を確認するだけでなく、施策の方向性や優先順位を考える大切な機会であることを改めて認識しました。今後は、本研修で学んだ内容を活かしながら、分かりやすく丁寧な議論に努めてまいります。

